

新聞 つたえびと

6月11日(月)

【発行】NPO法人
ファイブブリッジ
【編集人】
畠山茂陽・鈴木圭介

紙面から

ざおう森の回廊まつり開催
 三国商店、新工場再建に着手
 三陸オーシャンほやフランド募集開始
 FBユニテッド、大会で初優勝
 こせがれ自論4 溝端宏幸さん
 こせがれ自論5 平間徹也さん
 こせがれ自論6 蜂屋和彦さん

蔵王

蔵王圏の人々と顔が見える交流を

ざおう森の回廊まつりで蔵王の魅力味わう

蔵王・白石の様々な業種のプロが集まり、蔵王エリアの魅力を伝え、蔵王のファンを増やすことを目的としたイベント「ざおう森の回廊まつり」。6月9・10日の週末、ざおうハープが運営するビルハウス内の蔵王の魅力的な商品をセレクトした直売所「わいわいハウス」(蔵王町)で賑々しく行われた。

当日は、蔵王の食の伝 本文彦シェフによるオム道師アトリエリス佐々 レッ料理教室、鈴木元亮



2日間で親せき同様のつながりが生まれた宮城、東京組と蔵王組の仲間たち

の鈴木さんによるアクセサリーづくり、蔵王町の食生活改善推進委員の会長・高子ようこさんによる漬物作り。とし子工房さんによる染物づくりなどの参加体験型イベント、ハープや野菜や新鮮卵の即売会が催された。

初日の回廊まつり終了後には、宮城組、蔵王・白石組を含めた約20名に、首都圏から宮城を応援する有志コミュニティ「Tokyo⇄Miyagi Action Project」(T⇄MAP)のメンバー15名も駆け付け、「あなたにとって魅力ある蔵王とは？」

蔵王との関わり方について考える」をテーマにしたワークショップが開かれた。東京組からは、宮城蔵王としての発信力が必要素との提言から「蔵王圏と呼ぼう」「東京から一番近い本物の田舎」などの言葉が飛び交った。

T⇄MAP代表の渋谷のBAR「公界一店主・木村光さんからは「蔵王圏の人々と顔が見える交流を続けていく」との力強いエールが出された。ひとつの構想として「蔵王カラーランド化計画」の提案があり、それらについても白熱した議論がなされた。

「感謝状」に涙ぐむ人も

2日目は、白石の若手きゅうり農家・キョウリ歩人こと大庭知子さんのビルハウスに立ち寄り、若い世代が地域で農家を行う意義やその苦悩

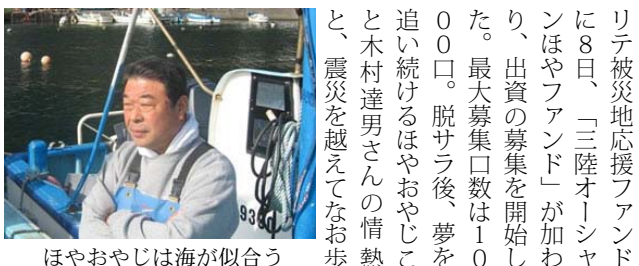
についての話一同は聞きほれていた。ざおうハープでは秋の芋煮会に向けた里芋栽培地を散策した。わいわいハウスに戻ったの昼食は「さなぶり」の時期ということもあり、杵と臼での餅つきがなされ、雑煮などを堪能した。

会の最後には、ざおう森の回廊メンバーから東京組に「感謝状」が手渡され「蔵王に寄つたら気軽に声をかけてください」とラブコール。

その後山元町に移動し、被災しながらもいち早く再建した「山元いちご農園」を訪問し、ちごおとめの完熟いちご狩

三陸オーシャンほやフランド募集開始

被災地支援に取り組みミュージックセキユリテイズ(東京)のセキユリテ被災地応援フランドに8日、「三陸オーシャンほやフランド」が加わり、出資の募集を開始した。最大募集口数は1000口。脱サラ後、夢を追いつけるほやおやじこと木村達男さんの情熱と、震災を越えてなお歩



ほやおやじは海が似合う

みを止めない力を、全力で応援したいものだ。出資はWebからのみとなる。「三陸オーシャンほやフランド」で検索を。こせがれ農家ビジネスUPセミナースタート

6月11日から10月10日まで、全8回にわたりファイブブリッジにおいて「農家ビジネスUPセミナー」が開催される。「農業から地域を盛り上げて、復興へと繋がる学びの場」として、農家の経営や農産物の販売に軸をおいた、魅力的なセミナーだ。

農家のこせがれネットワークの脇坂真史さんや、漂流阿部の阿部憲三さんなど、多様な講師陣も魅力。ぜひご参加を。

全国でも稀な「部活動のあるNPO法人」、それがファイブブリッジ

【連載小説】
Pass word (一)
作・まさる

期待外れだった。どうも人間に帰巢本能はないらしい。

混乱した頭でしばらく道を彷徨い、辿り着いたのはどん詰まりの川縁だった。緩やかな川の流れに何かを連想しようとするが、思考はそれ以上進まない。水は少し淀んでいて、まるで今の私の頭の中



いる。それら一つ一つのことを思い出すのも、何かを思い出すきつかけは見つからない。携帯電話の電池は早々に切れてしまつて時間もわからない。どうしてこの男は腕時計すらしていないのだらう、と自分に腹が立つ。

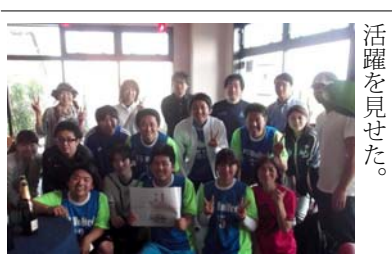
いずれにせよ、頭を冷やしたら元の場所に戻った方がよさそう。さつきまで居た場所のただならぬ喧騒は、今の自分にはまだ少し遠い出来事のように思えた。(続)

FB夏冬

昨今、目につく言葉。インバウンドやらジオパーク構想やらビジターズ産業など。何やら難しく、遠い世界の話をしてるよう感じる。また、「観光」という言葉を使っている限り、日帰り5000円などの温泉ぐるめツアーの印象から払拭できないと思うのだ。ここ数年、人の魅力を探る旅を「ひとツーリズム」と呼び、実際に県内の地域に生きる人をめぐる「ひとツーリズムツアー」を行ってきた。一昨年、東北生活文化大学高校生チームと連携し、全国高校生・観光甲子園で「観光地ではなく人を巡るツアー」ひとツーリズム」として優秀作品賞をおさめ評価されている。▼2文字で表現するとすれば「観光から「歓交」へ」だ。地域の人々と「歓んで交わろうとする人」を増やしていきたいもの。知り合えば、また会いにいきたくならないのが「人の生きざま」だ。もう「人の生きざま」とする人が多いと、きつと末長く深い関係がつけられるはずだ。▼1年間に1万人が1回訪れる観光地よりも「1年間に1000人が10回訪れる歓交地」の方が、ワクワクする出来事が日々生まれるはずだ。様々な地域で「ひとツーリズム」や「歓交ツアー」が催され、そうした言葉が普通に新聞の見出しにもなり、既存の観光の概念が変わっていくことを、目指していきたい。【畠山茂陽】

だ。現在、平間徹也さんが選手兼監督を務めるフットサルチーム「FBユニテッド」と瀬戸恵介さん率いるマラソン愛好会「FBランニング部」が活動中だが、設立後1年に満たないFBユニテッドが、普段練習場としていたあすと長町「フットメッセ」主催の大会ウルトラビギナーコースで、初優勝の快挙を遂げた。

女性も参戦しており、芳賀真里子さんはもはや重要な戦力の一人。みつちーこと鈴木美智代さんもシュートを放つなどの活躍を見せた。



写真が逆光だが(笑)誇らしげ

石巻

三国商店、新工場再建に着手

「冷蔵庫・凍結庫・処理場」10月完成を目指す

東日本大震災で被災した石巻の冷凍魚・鮮魚販売 三国商店が6月9日、新工場の地鎮祭を行っ



継入れをする兄で6代目の知彦さんとそれを見つめる三国俊博さん(後頭部)

た。サバ、イワシ、サンマ、タラなどの水揚げのある秋のピークに間に合わせるため、10月の操業を目指す、再出発する。

三国俊博さんは、明治時代から100年以上続く三国商店の二男。自らも津波に流され、5代目の父と工場2棟も失い、一時は途方に暮れた。しかしそんな中でも兄や家

族と共に三国商店の行く末を模索してきた。グループ化補助金制度は、被災額の4分の3を上限に補助を受けられる。0社で申請したが、三国商店の受ける補助金だけでも数億円に上る。新工場の再建費用に充てられる。

新工場の基礎は1メートルの高さまで上げて建築される。津波は2階を超え高さまで襲ったが、せめてもの対策と、俊博さんは語る。

先日から、会計を学ぶ

ため、仙台市内の学校に通い始めた。10月の本格稼働に向けて、自らの役割を全うするためだ。な

女に口説き方について熱弁をふるう俊博さんだが、こう語る瞳の奥に意

宮城のこせがれネットワークに参加し、さまざまなかせがれ達と触れ合

としていることだ。俊博さんにも同じことを感じずにはいられなかった。

三国俊博さんの話



常に前向きな男、三国だ

晴だが寒い。新雪も残っていた。鳥が鳴いて

お願ひ 今号より連載小説が始まりました。ご感想お待ちしています。

第4回 東北復興プロジェクトフェア
 若者の希望に合う、長期インターンシップや復興ボランティアを見つける合同説明会を開催！

7月1日(日) 13:30~17:30
 ライブホール Rensa

お問い合わせ 事務局 一般社団法人ワカツク内 担当：高橋 Tel：022-721-6180 Fax：022-721-6181 E-mail：info@wakatsuku.jp

イタリアに習う幸せのカタチ



みぞつちふあーむの「カタチ」が楽しみ

近頃の若者は「ゆとり世代」で生ぬるい。昔は右肩上がりの経済成長でイイ時代だった。という言葉をよく聞きます。僕は「ゆとり世代」の人たちが好きです。面白い考え方や価値観を持つ人がすくなく、確かに学力面の低下は否めませんが、自分の人生について考える力や直観力は、昭和の世代よりよっぽど優れています。自分なりの幸せのカタチを模索している。

い出会いがあつた、そんな、小さな幸せを感じる毎日を送っています。一応、将来成し遂げたい目標はありますが、目標が達成できていない今でも十分人生に満足なんです。目標があつて、それに向かつて日々少しずつ前進している。いつでも前でもいい。もしかしたら、目標が達成されないうちに死ぬ方が幸せなのかもしれませんね。

日本はもう経済成長なんてしない。去年、イタリア滞在時に出会ったイタリア人はそんな感じでした。意外と働き方をしていて、自分の生まれた街が大好きで、食べることに、生きていくことに、笑いあえることを喜び、今を楽しんでいる。日本はもう経済成長なんてしない。

これからの人生、うまくいかないこと、いろいろ出てくると思います。その苦境や苦労を楽しめるのなら、続けるべき。そして、楽しめないなら辞めるべき、捨てるべき。よくないのは、うまくいかないことを他人や社会のせいにして、いつか誰かがどうにかしてくれろという甘い考えを持つこと。日本は何もしてくれません。誰かを憎んだところで、ネガティブになるだけ。のんびり楽しく、前向きに生きながら、いつの間にか人生終了、自分的には、あと10年くらい生きればそれでいい、十分すぎるくらいかな。自分とつながれて

農業やってる人って少なくなった



本文とは無関係にハイテンのヒラードと平間徹也さん

農業やってる人って今の時代ほんとにめずらしくなってきた。でも、兼業農家も、今、兼業農家も増えている。農業人口は2008年現在で298万人いるらしいです。でも、このうち半数の150万人が70歳以上の高齢者が占め、さらに、20年後を担う39歳以下は35万人にとどまっているようです。さらにこれはあくまでも、兼業農家まで含めた農業人口ですから、39歳以下の専業農家というとい体何人いるの？という数字になつてしまっています。

医師不足がさげばれて、最近の日本ですが、2008年現在で28万人

いるそうです。あと30年もすると医師の数より兼業まで含めた農家のほうが少なくなつてしまいうんだぞうです。で、これ兼業までふくめた人数だから、専業農家の人口なんて、いまの時点で医師の数より少ないかもしれませんね。町に一人も医師がいらない町なんて最近では多々あり、問題になってます。それ以上に、農家のほうが人数がすくないなんてまずいですよね。だれもこの町で食料作る人がいねーっていう市町村が全国に多々あるってことですよ？。このま

ま、日本のみんなの考えが変わらないで時を過すと今の豊食の日本では信じられないようなことが30年もしないうちにおきてしまうのかもしれない。...

若者語り場夜カフェ」
「被災地にも生きるつたえびと」

白菜物語「春の祭典」

白菜の育種に力を入れている美里町の渡辺探、それから何十年の間、新しい白菜の品種が出来たということ、白菜の見本をもつて来て頂き、その種を完成させ世に出すの、なんと15年もかかるそう、さまざまなかかるので、さまざまなか組み合わせの中から、さらに良い白菜にするために、並々ならぬ苦労があるそう。

それになんと、一人の社員が、入社して退職するまでに1品種生み出すことが出来れば、良いんだぞうです。なんと気分の遠くなるようなレベル。でも、ものすごくやりがいがあるんでしょ。生き生きと説明してくれる渡辺探種場さんの担当の方をみてそう思いました。

大正時代に浦戸諸島で白菜の種採りに成功し、それから何十年の間、新しい白菜の品種が出来たということ、白菜の見本をもつて来て頂き、その種を完成させ世に出すの、なんと15年もかかるそう、さまざまなかかるので、さまざまなか組み合わせの中から、さらに良い白菜にするために、並々ならぬ苦労があるそう。



最近やや頑張りすぎの蜂屋さん

白菜の育種により、大きく社会に貢献されてきた。一つの種を完成させ世に出すの、なんと15年もかかるそう、さまざまなかかるので、さまざまなか組み合わせの中から、さらに良い白菜にするために、並々ならぬ苦労があるそう。

白菜の育種により、大きく社会に貢献されてきた。一つの種を完成させ世に出すの、なんと15年もかかるそう、さまざまなかかるので、さまざまなか組み合わせの中から、さらに良い白菜にするために、並々ならぬ苦労があるそう。

仙台市と連携し商品化された仙台あおば餃子は、仙台雪菜を練りこんだ緑色の皮が特徴だが、蜂屋のそれは形も丸く食感もちもち。現在商品化を目指している。密かに他にも商品開発を進めている蜂屋和彦さん、鈴木貴之さん。情熱を注ぐあま

東北ビジネス未来塾 収益金活用募集中
これまで30回以上にわたり開催されてきた東北ビジネス未来塾が、収益金の使い道を募集している。各地の地域やコミュニティの成功事例などを視察し、得た知見をメンバーに還元してもらうのが狙い。未来塾の活動に新しい風を吹き、なにかつ私腹を肥やせると話題となっている。この機会にふるってご応募を。

みやぎのあられがこのほど東京スカイツリーに出店、人気を博している。現地の巨人好きな新聞によるとなんとランキング5位に入る人気。確かな仕事の評価された形だ。みやぎのあられの石田亮平さんは、先日〇はたで開催された「宮城のこせがれキッチン」にも登場し、新商品への足がかりをつかんだ様子。これからの展開がますます楽しみです。

白菜物語「春の祭典」

白菜の育種に力を入れている美里町の渡辺探、それから何十年の間、新しい白菜の品種が出来たということ、白菜の見本をもつて来て頂き、その種を完成させ世に出すの、なんと15年もかかるそう、さまざまなかかるので、さまざまなか組み合わせの中から、さらに良い白菜にするために、並々ならぬ苦労があるそう。

メルマガ『蜂屋の餃子メルマガ』より

品「春の祭典」の方が、よりシャキシャキ感や旨みがあつて餃子には向いているのではという意見が社内にも多かったです。さすが、新商品だと思えました。

さまざまな素材、製法、配合、等々の中から、常にベストなものをもとめて作り続けて積み上げて行くしかありません。そんな積み重ねを生き生きとやらせていただけることに幸せを感じます。

MAKOTO 熱気ムンムン
消息筋によると、起業家の「志」を支援し、事業創造を行う一般社団法人MAKOTOの竹井智宏さんが、仙台駅東口付近にアパートを借り、メンバーで夜な夜な(?)酒を飲みつつ熱い議論を繰り広げているらしい。MAKOTOの志に触れたい方はぜひ連絡を。快く迎えてくれるはずだ。

みやぎのあられがこのほど東京スカイツリーに出店、人気を博している。現地の巨人好きな新聞によるとなんとランキング5位に入る人気。確かな仕事の評価された形だ。みやぎのあられの石田亮平さんは、先日〇はたで開催された「宮城のこせがれキッチン」にも登場し、新商品への足がかりをつかんだ様子。これからの展開がますます楽しみです。

被災地に生きるつたえびと
被災地に生きるつたえびと



東西南北のレバ、行ッソシキカ、冬ニ狩猟アバ、獲物ヨシキカ、大竹君ニ

早稲、餃子にして食べ比べてみたところ、新商



いきなり旨いあおば餃子

みやぎのあられがこのほど東京スカイツリーに出店、人気を博している。現地の巨人好きな新聞によるとなんとランキング5位に入る人気。確かな仕事の評価された形だ。みやぎのあられの石田亮平さんは、先日〇はたで開催された「宮城のこせがれキッチン」にも登場し、新商品への足がかりをつかんだ様子。これからの展開がますます楽しみです。

被災地に生きるつたえびと
被災地に生きるつたえびと

被災地に生きるつたえびと
被災地に生きるつたえびと

定価：1,000円
申込：info@five-bridge.jp

誰かが3・11大震災の想いを、後世に伝える存在の人に。誰もがみんな「つたえびと」。- 高田 茂陽